

平成23年度 第2回社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成23年7月14日(金) 17:00～
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者: 前田委員(ネット) 渡辺委員 井上委員(ネット) 天野アドバイザー
(事務局) 井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 前回の検討を踏まえて学士力の実現に必要なICTを活用し教育改善の授業モデルを検討した。

2. 教育改善モデル1について

前回までの検討を踏まえて、委員から教育改善モデル1について説明があり、見直しを行なった。

(1) 提案の概要

委員から資料を基に報告があり、福祉問題との関連性や社会的問題を理解し、制度的課題の分析ができることを目指すこととした。

(2) 検討内容

- ① 到達度として学生が身につける能力を学士力の到達目標の到達度に合わせ、②③④とした。
- ② 授業のねらいとしては、到達度に掲げた能力を達成する授業の一例、到達度の達成の困難な背景と困難を克服するための授業の提案を行うこととし、「社会福祉の意義の理解させるための授業「疾病、失業、高齢、障害等の理由により社会的に排除されている人々の生活実態や困難状況について、現実的な感覚の中で理解できるようにし、明確な動機づけと積極的に関与しようとする態度と制度的課題の分析ができる。」ことを目標とした。
- ③ 授業の仕組みとICTを用いた授業シナリオは、4年間を通じて学びを定着できることを目指す授業の仕組みを検討した。
 - ・卒業するまでの学習期間を通じた授業改善モデルとする。
 - ・グループで社会問題に対する支援活動の情報についてのディスカッション、レポートの作成、学習支援システムを用いて力を付けさせる。
 - ・学習成果は外部に公開し、社会からの評価を受け、振り返り学習を行う。
- ④ ICTを用いた学習内容・方法、期待される効果については提案する授業の一例として、整理した。
- ⑤ ICTを用いて期待される効果以下を整理した。

3. 教育改善モデル2について

前回までの検討を踏まえて、委員から教育改善モデル2について説明があり、見直しを行なった。

(1) 提案の概要

委員から資料を基に報告があり、ソーシャルワークの目的・価値・倫理の概要を理解できることを目指すこととした。

(2) 検討内容

- ① 到達度として学生が身につける能力を学士力の到達目標の到達度①～④に合わせた。
- ② 授業のねらいとしては、到達度に掲げた能力を達成する授業の一例、到達度の達成の困難な背景と困難を克服するための授業の提案を行うこととし、「人権尊重、社会正義の理念を確認し、「なぜこれらの人々や集団・地域に働きかけることが必要なのか」を具体的に表現でき、制度に対する改善点や問題点が指摘できる」ことを目標とした。
- ③ 授業の仕組みとICTを用いた授業シナリオは、4年間を通じて学びを定着できることを目指す授業の仕組みを検討した。卒業時点での学習の成果達成を目指す授業の仕組みを検討した。
 - ・卒業するまでの学習期間を通じた授業改善モデルとする。
 - ・グループで当事者が暮らす生活環境の社会資源や社会制度についてまとめ、ディスカッション、レポートの作成、学習支援システムを用いて力を付けさせる。
 - ・学習成果は外部に公開し、社会からの評価を受け、発展的な学習を行う。
- ④ ICTを用いた学習内容・方法、期待される効果については提案する授業の一例として、整理した。
- ⑤ ICTを用いて期待される効果以下を整理した。

V. 次回の開催日程

メーリングリストにて日程調整。

次回までの課題：授業モデル案2のICTを用いた学習内容・方法以下は7月末までにまとめる。